

Dell™ 2208WFP SFF AIO フラットパネルモニタユーザーズガイド

[製品の特徴](#)

[モニタのセットアップ](#)

[モニタの操作](#)

[問題を解決する](#)

[付録](#)

注、注記および注意



注意: 注は、コンピュータをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。



注記: モニタが正常に作動しない場合、特に異常な音や臭いが発生する場合は、ただちに電源プラグを抜いて、Dell テクニカルサポート に連絡してください。



注意: 注意は、材質破損、身体の怪我、または死につながる可能性を示します。

本文書中の情報は、通知することなく変更することがあります。
© 2008 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も 厳禁します。

本文書で使用した商標 Dell、DELL、ロゴ、Inspiron、Dell Precision、Dimension、OptiPlex、Latitude、PowerEdge、PowerVault、PowerApp および Dell OpenManage は、Dell社の商標です。Microsoft、Windows、および Windows NTは、マイクロソフト社の登録商標です。AdobeはAdobe Systems社の商標で、一部の管轄区域で登録されていることがあります。ENERGY STARは、米国環境保護省の登録商標です。ENERGY STAR パートナーとして、DELL社は、本製品がエネルギー効率に関して、ENERGY STAR ガイドラインに対応することを確認しました。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文書中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

Model 2208WFPF

2009年 1月 Rev. A01

[目次ページに戻る](#)


モニターについて

Dell™ 2208WFP AIOフラットパネルモニター（Dell OptiPlex™ SFF コンピュータ用）

- [パッケージの内容](#)
- [製品の特徴](#)
- [部品とコントロールの確認](#)
- [モニター仕様](#)
- [プラグ・アンド・プレイ機能](#)
- [ユニバーサル・シリアルバス \(USB\) インターフェイス](#)
- [保守のガイドライン](#)

パッケージの内容

モニターには、以下に示すコンポーネントがすべて付属しています。コンポーネントがすべて揃っているかを確認し、コンポーネントが足りないときは[Dellにご連絡ください](#)。

 **注意**：一部のアイテムはオプションで、モニターに付属していません。機能またはメディアには、特定の国で使用できないものもあります。

	1 モニター
	1 スタンド

	<ul style="list-style-type: none"> 1 ケーブルカバー
	<ul style="list-style-type: none"> 1 電源ケーブル
	<ul style="list-style-type: none"> 1 DVIケーブル
	<ul style="list-style-type: none"> 1 VGAケーブル(モニターに接続)
	<ul style="list-style-type: none"> 1 USBアップストリームケーブル (モニターのUSBポートを有効にします)
	<ul style="list-style-type: none"> 1 ドライバとマニュアルメディア 1 クイックセットアップガイド 1 安全情報 1 スタンドテンプレートシート

製品の特徴

2208WFP SFF AIO フラットパネルディスプレイにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスタ(TFT)、液晶ディスプレイ(LCD)が搭載されています。モニターの機能は、以下のようになっています。

- 22インチ(573.6 mm)表示可能領域のディスプレイ(対角で測定)。
- 1680x1050解像度、低解像度の場合全画面もサポートしています。
- 広い表示角度により、座った位置からでも立った位置からでも、または横に動きながらでも見ることができます。
- システムでサポートされている場合、プラグアンドプレイ機能。
- オンスクリーンディスプレイ(OSD)調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- ソフトウェアとマニュアルメディアには、情報ファイル(INF)、画像カラーマッピングファイル(ICM)、および製品マニュアルが含まれています。
- 省エネ機能(エネルギースターに準拠)。
- 取り外し可能台座とVESA(ビデオエレクトロニクス規格協会) 100 mm取り付け穴で柔軟な取付が可能。
- Dell OptiPlexを一体化するモニタースタンド™ 小さいフォームファクターコンピュータ、オールインワン設定のケーブルカバーとモニター。
- 傾き、旋回および垂直拡張調整機能
- 単純な手順による、モニタースタンドからコンピュータとケーブルカバーの自動結合と取り外し
- ロック可能なケーブルカバーにより、ケーブル管理が容易になり、ケーブルの盗難を防いでいます。
- 大きくて使いやすい格納式ハンドルで、システムをどこにでも持ち運ぶことができます。
- スタンド背面のケーブル管理クリップで、ケーブルをまとめることができます。
- モニターとスタンドのセキュリティロックスロット
- スタンドベース下部のねじ穴でデスクトップへの取り付けが可能になりセキュリティの向上を図っています。

部品とコントロールの確認

正面図



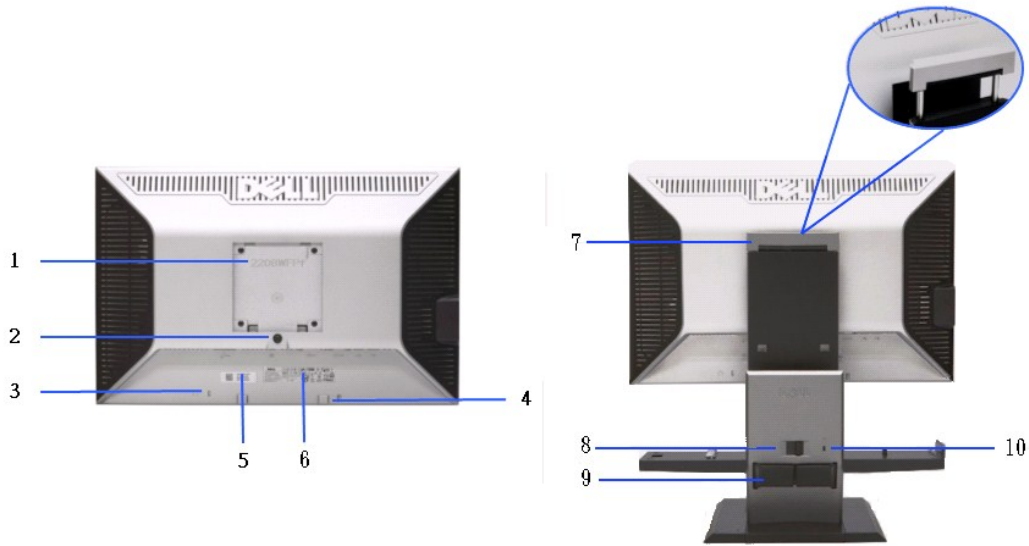
正面図



前面パネルのコントロール

ラベル	説明
1	入力ソースの選択
2	OSDメニュー/選択ボタン
3	明るさコントラスト / ダウン(-) ボタン
4	自動調節/アップボタン
5	電源ボタン(電源ライトインジケータ付き)

後方図

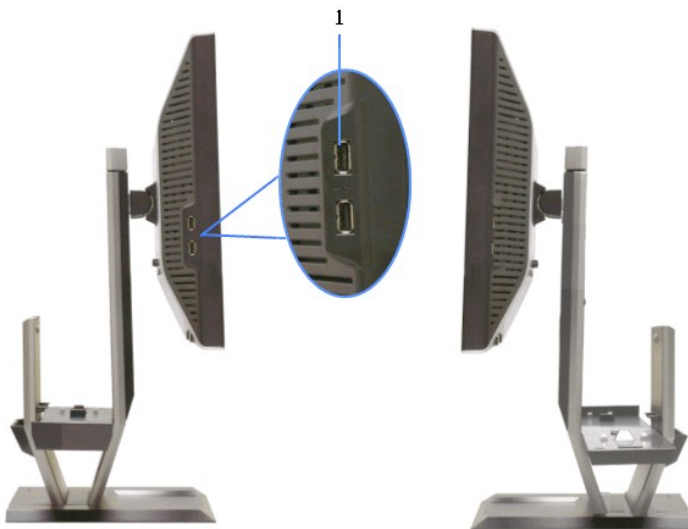


後方図

背面図 (モニターのスタンド付き)

ラベル	説明	使用
1	VESA取り付け穴 (100mm) (接続されたベースプレートの背面)	VESA互換の壁取り付けキット(100mm x 100mm)を使用する壁取り付けモニター
2	スタンド取外しボタン	モニターからスタンドを取り外します。
3	セキュリティロックスロット	モニターをセキュリティロックで固定します。
4	Dellサウンドバー取付ブラケット	オプションのDellサウンドバーを取り付けます。
5	バーコード・シリアル番号ラベル	技術サポートについては、Dellにお問い合わせください。
6	規制定格ラベル	規制承認を表示します。
7	自動格納式ハンドル	モニターとコンピュータシステムを持ち運び可能にします。
8	アンロックスイッチ	コンピュータとケーブルカバーをスタンドから取り外します。
9	ケーブル管理クリップ	ケーブルを整理します
10	スタンドセキュリティロックスロット	コンピュータとケーブルカバーをセキュリティロックで固定します

側面図

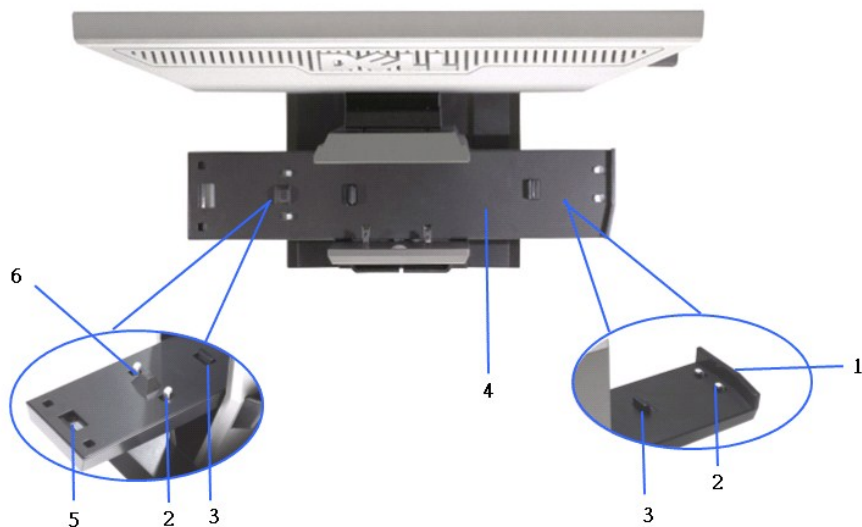


左側面図

右側面図

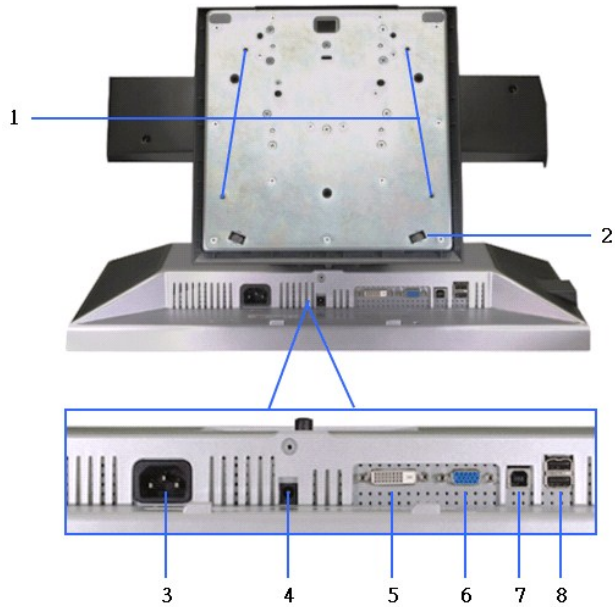
ラベル	説明	使用
1	USBダウンストリームポート	USBデバイスを接続します

上方図



ラベル	説明	使用
1	コンピュータの位置合わせ機能	コンピュータの前面の輪郭を合わせます。
2	自動シャーフック	コンピュータをスタンドに自動的にロックします。
3	フックトリガー	コンピュータがスタンドの上にあるときに検出し、自動シャーフックをかみ合わせます。
4	コンピュータプラットフォーム	コンピュータとケーブルカバーをスタンドで支えます。
5	ケーブルカバーラッチ	スタンドからケーブルカバーを取り外します。
6	コンピュータの位置合わせランプ	コンピュータの前面の輪郭を合わせます。

底面図



底部図

ラベル	説明	使用
1	デスクトップマウントねじ穴 (4x)	デスクトップにスタンドをマウントし、セキュリティの向上を図ります
2	スイベルローラー	モニターを回転します
3	電源コネクタ	電源ケーブルを接続します
4	Dellサウンドバーの電源コネクタ	サウンドバー向けの電源コードを接続します (オプション)
5	DVIコネクタ	コンピュータDVIのケーブルを接続します。
6	VGAコネクタ	コンピュータVGAのケーブルを接続します
7	USB アップストリームコネクタ	モニターに接続されたUSBケーブルをモニターとコンピュータに接続します。このケーブルを接続すると、モニターの側面および底面にあるUSBコネクタを使用することができます。
8	USBダウンストリームコネクタ	USBデバイスを接続します。このコネクタは、コンピュータおよびモニター上のUSBアップストリーム・コネクタ上にUSBケーブルを接続した後でのみ使用できます。

モニター仕様

フラットパネル仕様

スクリーン・タイプ	有効マトリックス - TFT LCD
パネルタイプ	TN
画面寸法	22インチ(22インチ表示可能画像サイズ)
事前設定ディスプレイ領域:	473.76(水平)X296.1(垂直)
水平	473.76 mm
垂直	296.1 mm
ピクセル・ピッチ	0.282 mm
表示角度	160°(垂直) 標準、160°(水平) 標準
ルミネンス出力	300 CD/m ² (標準)
コントラスト比	1000:1(標準)
面板コーティング	ハードコーティング3Hでの遮光
バックライト	CCFL (4) エッジライト・システム
応答時間	5 ms標準
色域	102%*

* [2208W SFF AIO] の色域(標準)は、CIE 1976 (102%) およびCIE1931 (92%)テスト基準に基づいています。

解像度仕様

水平走査幅	30KHz~83HKz(自動)
垂直走査幅	56Hz~75Hz(自動)
事前設定の最適解像度	60Hzで1680 x 1050
事前設定の最高解像度	75Hzで1680 x 1050

サポートされるビデオモード

ビデオディスプレイ機能 (DVI再生)	480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080P (HDCPをサポート)
---------------------	--

事前設定ディスプレイ・モード

ディスプレイ・モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル・クロック (MHz)	同期種 (水平/垂直)
VESA, 720 x 400	31.5	70.0	28.3	-/+
VESA, 640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA, 640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA, 800 x 600	37.9	60.0	40.0	+/+
VESA, 800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA, 1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA, 1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA, 1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	64.0	60.0	135.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA, 1680 x 1050	65.2	60.0	146.3	-/+
VESA, 1680 x 1050	64.6	60.0	119.0	+/-

電氣的仕様

ビデオ入力信号	アナログRGB、0.7ボルト +/- 5%、正電極が75オーム入カインピダンス デジタル DVI-D TMDS、50オーム入カインピダンスで各微分線、正電極に対して600mV
同期入力信号	個別水平および垂直同期、電極フリー-TTLレベル、SOG (複合同期オン・グリーン)
AC入力電圧/周波数/電流	100 ~ 240 VAC / 50 または 60 Hz \pm 3 Hz/2.0A (最大)
インラッシュ電流	120 V: 42 A (最大) 240 V: 80 A (最大)

物理 特性

コネクタ・タイプ	15-pin D-subミニ、青コネクタ、DVI-D、白コネクタ
信号ケーブル・タイプ	デジタル: 取外可能、DVI-D、固定ピン、出荷時はモニターとは別 アナログ: 取外可能、D-sub、15ピン、出荷時はモニターに付属
寸法 (スタンド付き)	
高さ(拡張)	527.04mm
高さ(圧縮)	437.04 mm
幅	511.41mm
奥行き	255.75 mm
寸法 (スタンドなし)	
高さ	334.94 mm

幅	511.41 mm
奥行き	65.00 mm
スタンド寸法	
高さ(ハンドル拡張時)	459.38 mm
高さ(ハンドル格納時)	429.66 mm
幅	428.06 mm
奥行き	255.75 mm
重量	
重さ(パッケージ含む)	12.65 kg
重さ(スタンド・アセンブリとケーブルを含む)	9.82kg
重さ(スタンド・アセンブリなし) (壁取付またはVESA取付用 - ケーブルなし)	4.61 kgs
スタンド・アセンブリの重さ	5.11 kgs

環境特性

温度	
運転時	5°~35°C (41°~95°F)
非運転時	ストレージ:-20°~ 60°C (-4°~ 140°F) 出荷時:-20°~ 60° C (-4°~ 140°F)
湿度	
運転時	10%~80% (結露しないこと)
非運転時	ストレージ:5%~90% (結露しないこと) 出荷時:5%~90% (結露しないこと)

[目次ページに戻る](#)

付録

Dell™ 2208WFP SFF AIO フラットパネルモニタユーザーズガイド

- [安全指示](#)
- [米国連邦通信委員会\(FCC\)通告\(米国内のみ\)およびその他規制に関する情報](#)
- [Dellへのお問い合わせ](#)

警告: 安全指示

 **警告:** このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります


安全に関する注意事項については、[製品情報ガイド](#)を参照してください。

米国連邦通信委員会(FCC)通告(米国内のみ)およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会(FCC)通告(米国内のみ)およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページ http://www.dell.com/regulatory_complianceをご覧ください。

Dellへのお問い合わせ

米国のお客様の場合、800-WWW-DELL (800-999-3355)にお電話ください。

 **注意:** インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、またはDell製品カタログで連絡先情報を調べることができます。

Dellでは、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけないサービスもあります。Dellの販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには:

1. support.dell.com にアクセスします。
2. ページ下部の Choose A Country/Region [国/地域の選択]ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。
3. ページ左側の Contact Us [連絡先]をクリックします。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートリンクを選択します。
5. ご自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

[目次ページに戻る](#)


[目次に戻る](#)

モニターのセットアップ

Dell™ 2208WFP SFF AIO フラットパネルモニター

インターネットにアクセスして Dell™ デスクトップコンピュータまたは Dell™ ノート PC を使用している場合

1. <http://support.dell.com> に移動し、サービスタグを入力したら、グラフィックスカードの最新ドライバをダウンロードしてください
2. グラフィックスアダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び 1680x1050 に設定します。

 **注:** 解像度 1680x1050 に設定できない場合、™ に連絡してこれらの解像度をサポートするグラフィックスアダプタを調べてください。

[目次に戻る](#)


[目次に戻る](#)

モニタのセットアップ

Dell™ 2208WFP SFF AIO フラットパネルモニタ

非 Dell™ デスクトップコンピュータ、ノート PC、またはグラフィックカードを使用している場合

1. デスクトップを右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
2. **設定**タブを選択します。
3. **詳細設定**を選択します。
4. ウィンドウ上部の説明から、グラフィックスコントローラサプライヤを確認します (NVIDIA、ATI、Intel など)。
5. 更新されたドライバについては、グラフィックカードプロバイダの web サイトを参照してください (たとえば、<http://www.ATI.com> 或は <http://www.NVIDIA.com>) 。
6. グラフィックスアダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び **1680x1050**に設定します。

 **注:** 解像度を1680x1050に設定できない場合、コンピュータの製造元にお問い合わせになるか、1680x1050 のビデオ解像度をサポートするグラフィックスアダプタの購入をご考慮ください。

[目次に戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

モニターの操作













Dell™ 2208WFP AIOフラットパネルモニター (Dell OptiPlex™ SFF コンピュータ用)

- [前面パネルコントロールの使用](#)
- [オンスクリーンディスプレイ\(OSD\)メニューの使用](#)
- [サウンドバー\(オプション\)を使う](#)
- [調整可能スタンドの操作](#)

正面パネルボタンを使う

モニター前面のコントロールボタンを使用して、表示されている画像の特性を調整します。これらのボタンを使用してコントロールを調整するとき、OSDが変更される特性の数値を示します。



正面パネルボタン	説明
<p>A</p>  <p>入力ソースの 選択/選択</p>	<p>このボタンを使って入力ソースを選択するか、OSDメニューオプションを選択します。INPUT SOURCE(入力ソース)ボタンを使って、モニターに接続する、1つまたは2つの異なるビデオ信号を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none">1: VGA入力1: DVI-D入力 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;">1: 自動検出 (アナログ入力) </div><div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;">1: 自動検出 (デジタル入力) </div></div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"><div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;">2: アナログ入力 </div><div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;">3: デジタル入力 </div></div> <p>VGAまたはDVI-D入力が選択されているがVGAとDVI-Dケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"><div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> VGAケーブルなし </div><div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> DVI-Dケーブルなし </div></div> <p>Sビデオまたはコンジット入力が選択されている場合、両方のケーブルが接続されていないか、またはビデオソースがオフになっていれば、画面に画像は表示されません。どれかのボタン(電源ボタン以外)を押すと、モニターに次のメッセージが表示されます。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;">PCからの信号なし。 キーボードの任意のキーを押すか、マウスのボタンをクリックするか、 モニタの"Input"ボタンを押すと、他の入力を切り替える。</div>
<p>B</p>  <p>メニュー</p>	<p>MENU(メニュー)ボタンを使用してオンスクリーンディスプレイ(OSD)を起動し、OSDメニューを選択します。「メニューシステムにアクセスする」を参照してください。</p>
<p>C</p>  <p>明るさとコントラスト/上に調整</p>	<p>このボタンを使って「明るさ/コントラスト」メニューに直接アクセスするか、選択したメニューオプションの値を増加します。</p>
<p>D</p>  <p>自動調整/下に調整</p>	<p>自動調整を使って自動セットアップ/調整を有効にするか、選択したメニューオプションの値を減少します。モニターが電流入力を自己調整するとき、黒スクリーン上に次のダイアログボックスが表示されます。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;">自動調整中.....</div> <p>自動調整を使って、モニターが入力ビデオ信号に対して自己調整できます。自動調整を使った後、画像設定の下でピクセルクロック(粗い)、フェーズ(微調整)コ</p>

	コントロールを使って、モニターをさらに調整できます。
	注意: 自動調整は、有効ビデオ入力信号または付属ケーブルがない状態でボタンを押した場合には、発生しません。
E	電源ボタンを使って、モニターをオンおよびオフにします。
	緑のLEDは、モニターがオンで、完全に機能していることを表します。黄色のLEDは、DPMS電源セーブ・モードを表します。



オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの使用

メニューシステムにアクセスする

注: 設定を変更し、別のメニューに進むか、またはOSDメニューを終了する場合、モニターは、その変更を自動的に保存します。変更は、設定を変更し、OSDメニューが消えるのを待つ場合も保存されます。

メニューボタンを押して、OSDメニューを開き、メインメニューを表示します。

アナログ(VGA)入力用メインメニュー



または

非アナログ(非VGA)入力用メインメニュー



注: AUTO ADJUST (自動調整) は、アナログ (VGA) コネクタを使用しているときのみ、利用可能です。

2. および ボタンを押して、設定オプション間を移動します。アイコンからアイコンに移動するときに、オプション名をハイライトします。モニター用に利用できるすべてのオプションの完全リストは、下表を参照してください。


メニューボタンを一回押して、ハイライトされたオプションを有効にします。

4. および ボタンを押して、必要なパラメータを選択します。

5. メニューを押して、スライドバーを入力し、次に、メニュー上のインジケータにしたがって、 および ボタンを使って、変更します。

6. 「メニュー/終了」オプションを選択してメインメニューに戻るか、OSDメニューを終了します。

アイコン	メニューおよびサブメニュー	説明								
	明るさおよびコントラスト	このメニューを使って、明るさ/コントラスト調整を有効にします。								
		<table border="1"> <tr> <td>戻り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>輝度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コントラスト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>終了メニュー</td> <td></td> </tr> </table>	戻り		輝度		コントラスト		終了メニュー	
戻り										
輝度										
コントラスト										
終了メニュー										

	明るさ	明るさを、バックライトのルミナンスを調整します。  ボタンを押して明るさを上げるか、  ボタンを押して明るさを下げます(最小0～最大100)。
	コントラスト	まず、明るさを調整し、さらに調整する必要がある場合のみコントラストを調整します。  ボタンを押してコントラストを上げるか、と  ボタンを押してコントラストを下げます(最小0～最大100)。 「コントラスト」機能は、モニター画面の暗さと明るさの程度を調整します。
	メニューの終了	 を押してOSDメインメニューを終了します。
	自動調整	コンピュータで、起動時にモニターを認識している場合でも、自動調整機能で、特定設定に使う表示設定を最適化できます。  注: ほとんどの場合、自動調整で、設定に最適な画像が生成されます。 注: AUTO ADJUST (自動調整) オプションは、アナログ (VGA) コネクタを使用しているときのみ、利用可能です。
	入力ソース	INPUT SOURCE(入力ソース)メニューを使って、異なるビデオ信号の間でモニターに接続する信号を選択します。 
	VGA	アナログ(VGA)コネクタを使用しているとき、VGA入力を選択します。  を押して、VGA入力ソースを選択します。
	DVI-D	デジタル(DVI)コネクタを使っているときは、DVI-D入力を選択します。  を押して、DVI入力ソースを選択します。
	メニューの終了	 を押してOSDメインメニューを終了します。
	プリセット設定	Color Settings(色設定)を使って、色設定モードと色温度を調整します。 VGA/DVI-Dおよびビデオ入力の場合、さまざまな色設定サブメニューがあります。 VGA/DVI-D入力の場合のプリセット設定サブメニュー(グラフィックスモード) VGA/DVI-D入力の場合のプリセット設定サブメニュー(ビデオモード)



入力色形式	モニターがVGA または DVI ケーブルを使用して PC または DVD に接続されている場合、RGB オプションを選択します。モニターがYPbPrケーブルによってDVDに接続されている場合はYPbPrオプション、YPbPrケーブルによってVGAに接続されている場合またはDVDカラー出力設定がRGBでない場合はDVIを選択します。
ガンマ	PCおよびMacに対して異なる色モードを有効にします。
色設定モード	グラフィックスモードとビデオモードを切り換えることができます。コンピュータがモニターに接続されている場合、グラフィックスを選択してください。DVD、STB、またはVCRがモニターに接続されている場合、ビデオを選択します。
プリセットモード	<p>グラフィックスを選択するとき、デスクトップ、マルチメディア、ゲーム、sRGB、ウォーム、クール、またはカスタム(R,G,B)を選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 PCを介して写真やクリップなどのメディアアプリケーションを表示する場合、「マルチメディア」プリセットを選択してください。 1 PCでゲームをプレーする場合、「ゲーミング」プリセットを選択します。 1 低い色温度(5700K)がお好みの場合、「ウォーム」プリセットを選択してください。 1 高い色温度がお好みの場合、「クール」プリセットを選択してください。 1 カスタム(R,G,B)プリセットでは、6500K色の範囲を提供します。 1 パネルのネイティブカラーフォーマットを利用するには、「デスクトップ」を選択します。 1 赤い色合いを付けるにはウォームプリセットを選択します。この色設定は、色強度アプリケーション用に使用されます(写真イメージ編集、マルチメディア、ムービーなど)

ど)。
 1 青い色合いを付けるには色プリセットを選択します。この色設定はテキストベースのアプリケーション (スプレッドシート、プログラミング、テキストエディタなど) で使用されます。
 1 カスタムプリセットを選択して、0~100まで1桁ずつ、3色それぞれ (R、G、B) を増減します。

ビデオを選択するとき、ムービー、ゲーム、スポーツ、またはネーチャープリセットを選択できます。

- 1 ムービーを再生する場合、「ムービー」プリセットを選択します。
- 1 スポーツプログラムをプレーする場合、「スポーツ」プリセットを選択します。
- 1 ゲームをプレーする場合、「ゲーム」プリセットを選択します。
- 1 一般的な画像またはWebを表示する場合またはテレビを視聴する場合、「ネーチャー」プリセットを選択します。初期設定に基づき、「色合い」/「彩度」を調整することができます。既定値の色設定を復元する場合、「色リセット」を選択します。
- 1 「色リセット」プリセットを選択して既定 (工場出荷時) の「色」設定を復元します。この設定は、sRGB標準デフォルト色スペースにもなります。

色合い この機能は、ビデオ画像の色を緑から紫にシフトします。これは、目的のフレッシュな色調に調整するために使用されます。 または を使って、「0」から「100」まで色合いを調整します。

を押すとビデオ画像の緑のシェードを増加します。
 を押すとビデオ画像の紫のシェードが減少します。

注意: 色合いは、ビデオ入力の場合にのみ使用できます。

彩度 この機能は、ビデオイメージの彩度を調整できます。 または を使って、「0」から「100」まで彩度を調整します。

を押すとビデオ画像の白黒の外観が増加します。
 を押すとビデオ画像のカラーの外観が減少します。












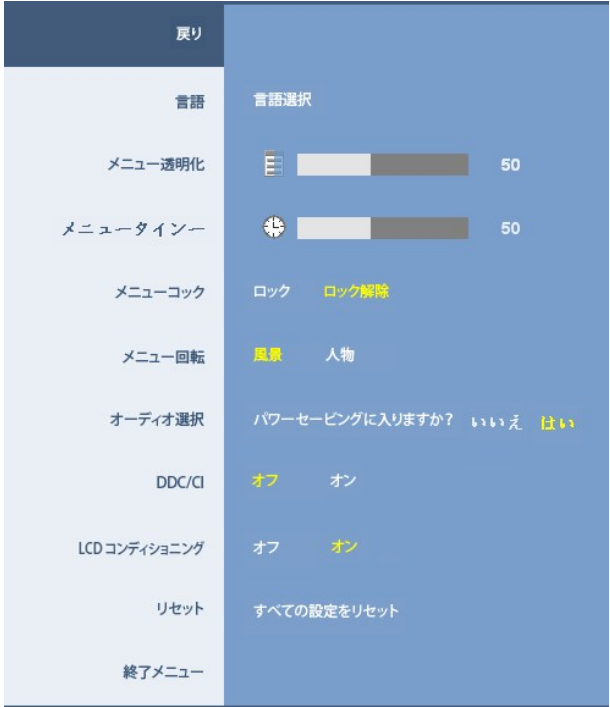
注: 彩度は、ビデオ入力の場合にのみ使用できます。







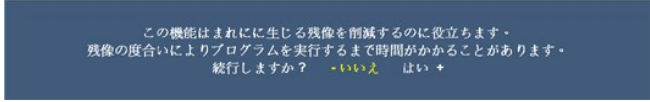
色リセット モニターの色設定を工場出荷時の設定にリセットします。

メニューの終了 を押してOSDメインメニューを終了します。

表示設定 「表示設定」を使って画像を調整します。

戻り	水平位置 50 垂直位置 50 シャープネス 50 周波数 50 フェーズ 50	戻り	シャープネス 50 ディスプレー情報 イメージリセット 終了メニュー
ディスプレイ情報	モニタ情報	ディスプレイ情報	モニタ情報
イメージリセット	すべての設定をリセット	イメージリセット	すべての設定をリセット
終了メニュー		終了メニュー	

戻る	 を使ってメインメニューに戻ります
水平位置	 または  ボタンを使って、画像を左または右に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+)です。
垂直位置	 または  ボタンを使って、画像を上または下に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+)です。
シャープネス	この機能により、画像はシャープにまたはソフトに表示されます。使用  または  を使って、「0」から「100」までシャープネスを調整します。
ピクセルロック	「フェーズ」および「ピクセルロック」調整で、モニターをお好みにあわせ調整することができます。これらの設定は、「画像設定」を選択することで、メインOSDメニューからアクセスできます。  または  ボタンを使って、最高の画像品質になるように調整します。
フェーズ	フェーズ調整を使った結果がよくない場合、ピクセル・クロック(粗い)調整を使い、次にフェーズ(細かい)をもう一度使います。 注意: ピクセルクロックと位相調整は、「VGA」入力の場合のみ使用できます。
画像情報	このモニターに関連するすべての設定。
画像プリセット	画像を工場出荷時の設定にリセットします。
メニューの終了	 を押してOSDメインメニューを終了します。
 その他の設定	このオプションを選択して、OSDの言語、メニューが画面に表示される時間など、OSDの設定を調整します。
	 <p>The screenshot shows the OSD settings menu with the following items:</p> <ul style="list-style-type: none"> 戻る (Back) 言語 (Language): 言語選択 (Language Selection) メニュー透明化 (Menu Transparency): 50 メニュータイマー (Menu Timer): 50 メニューロック (Menu Lock): ロック (Locked) / ロック解除 (Unlock) メニュー回転 (Menu Rotation): 風景 (Landscape) / 人物 (Portrait) オーディオ選択 (Audio Selection): パワーセービングに入りますか? (Do you want to enter power saving?) / いいえ (No) / はい (Yes) DDC/CI: オフ (Off) / オン (On) LCDコンディショニング (LCD Conditioning): オフ (Off) / オン (On) リセット (Reset): すべての設定をリセット (Reset all settings) 終了メニュー (Exit Menu)

言語	言語は5ヶ国語(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、日本語)のうち1つで表示を行うようにOSDディスプレイを設定できます。
メニューの透視性	この機能は、OSDの背景を不透明から透明まで調整するために使用されます。
メニュータイム	OSDホールド時間時間の長さを設定すると、OSDはボタンを最後に押した後有効になります。  または  ボタンを使って、5~60秒までで、1秒ずつスライダーを調整します。
メニューロック	調整に対するユーザアクセスを管理します。[ロック]  を選択した場合、ユーザ調整はできません。  ボタン以外、ボタンはすべてロックされます。 注: OSDがロックされている場合、メニューボタンを押すと、入力時に「OSDロック」を事前選択した状態で、ユーザは直接OSD設定メニューに進みます。  ボタンを15秒間押し続けるとロックが解除され、適用可能なすべての設定にアクセスできるようになります。
メニューの回転	OSDを反時計回りに90°回転させます。
オーディオオプション	省電力モードの間、オーディオ電源をオンまたはオフにします。 デフォルトは「有効」です。「無効」を選択すると、この機能が無効になります。 はい — 省電力モードの間、オーディオ電源をオフにします。 いいえ — 省電力モードの間、オーディオ電源を音にします。
DDC/CI	DDC/CI(ディスプレイデータチャンネル/コマンドインターフェイス)では、モニターのパラメータ(明るさ、色バランスなど)をコンピュータのソフトウェアを介して調整可能です。「無効」を選択することで、この機能を無効にできます。 モニターのユーザー体験を最高にし最適なパフォーマンスを達成するために、この機能は常に有効にしておいてください。 
LCDコンディショニング	画像がモニターに張り付いているように見える場合、 LCDコンディショニング を選択して画像の焼き付けを除去してください。LCDコンディショニング機能は、終了するのに数時間かかります。画像の焼き付けにはバーンインとして知られているものもありますが、LCDコンディショニング機能ではバーンインを取り除くことができません。  注意: LCDコンディショニングは、画像の焼き付けが発生した場合にのみご使用ください。
工場出荷時にリセット	OSD設定を工場出荷時事前設定値にリセットします。

メニュー
の終了

■ を押してOSDメインメニューを終了します。

[目次に戻る](#)

モニタのセットアップ

Dell™ 2208WFP SFF AIOフラットパネルモニタ

ディスプレイ解像度を1680x 1050(最適)に設定する「安全上の注意」

Microsoft Windows® オペレーティングシステムを使用している間最適のディスプレイパフォーマンスを達成するには、次のステップを実行してディスプレイ解像度を 1680 x 1050画素を設定します:

1. デスクトップを右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
2. **設定**タブを選択します。
3. マウスの左ボタンを押し下げることによってスライドバーを右に移動し、スクリーン解像度を 1680X1050に調整します。
4. **OK**をクリックします。

オプションとして 1680X1050 が表示されない場合、グラフィックスドライバを更新する必要があります。ご使用中のコンピュータシステムをもっとよく説明するシナリオを以下から選択し、示される指示に従ってください:

- 1: [インターネットにアクセスして Dell™ デスクトップコンピュータまたは Dell™ ノート PC を使用している場合。](#)
 - 2: [非 Dell™ デスクトップコンピュータ、ノート PC、またはグラフィックカードを使用している場合。](#)
-

[目次に戻る](#)

Dell™ 2208WFP SFF AIO フラットパネルモニタ

[ユーザーガイド](#)

[ディスプレイ解像度を1680 x 1050\(最適\)に設定する「安全上の注意」](#)

本文中の情報は、通知することなく変更することがあります。
© 2008 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も 厳禁します。

本テキストで使用した商標 本テキストで使用した商標: Dell および Dell ロゴは Dell Inc. の商標です。Microsoft、Windows、および Windows NTは、マイクロソフト社の登録商標です。AdobeはAdobe Systems社の商標で、一部の管轄区域で登録されていることがあります。ENERGY STARは、米国環境保護省の登録商標です。ENERGY STAR パートナーとして、DELL社は、本製品がエネルギー効率に関して、ENERGY STAR ガイドラインに対応することを確認しました。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

Model 2208WFPF

2009年 1月 Rev. A01

[目次ページに戻る](#)

モニターのセットアップ

Dell™ 2208WFP AIOフラットパネルモニター (Dell OptiPlex™; SFF コンピュータ用)


- [モニターおよびコンピュータ背面のケーブル接続](#)
- [スタンドからケーブルカバーとコンピュータを取り外す](#)
- [スタンドからモニターを分離する](#)
- [Dellサウンドバーを取り付ける \(オプション\)](#)

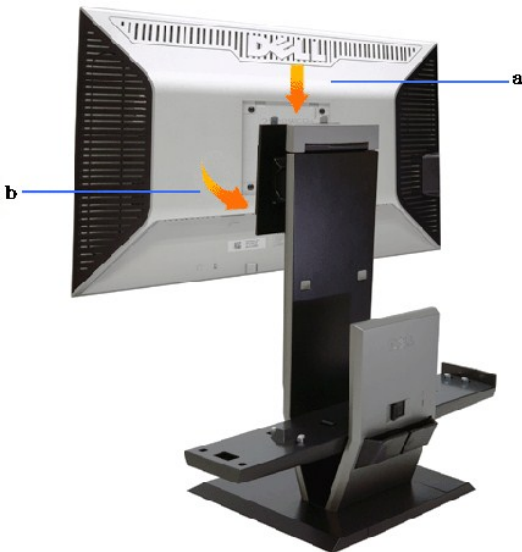
モニターおよびコンピュータ背面のケーブル接続

1. モニターをスタンドに取り付けます

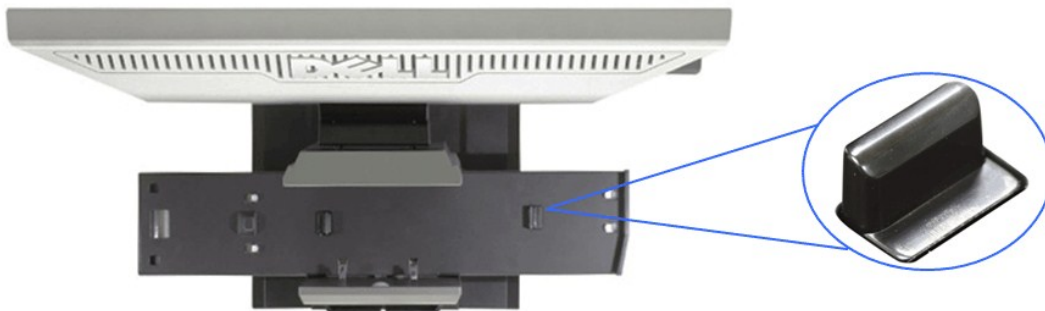
- スタンド上の2つのタブに、モニター背面の溝を固定します。
- スタンドにしっかりとロック、固定されるまで、モニターを下ろします。


 **注意:** モニターを工場から出荷するときは、スタンドを取外します。

 **注意:** AIOスタンドをデスクトップにマウントする場合、[AIOスタンドのテンプレートシート\(*.pdf\)](#)



2. コンピュータをスタンドに取り付ける前に、フックトリガーが引き伸ばされた位置にあることを確認します。



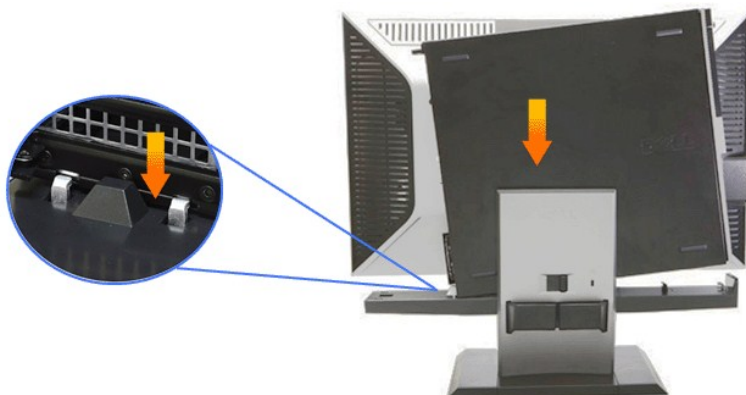
 **注意:** スタンドを工場から出荷するとき、フックトリガーは引き伸ばされた状態になっています。

トリガーフックがロックされた位置にある場合

- アンロックスイッチを右にスライドさせます。
- フックトリガーが解放され引き伸ばされた位置にきます。

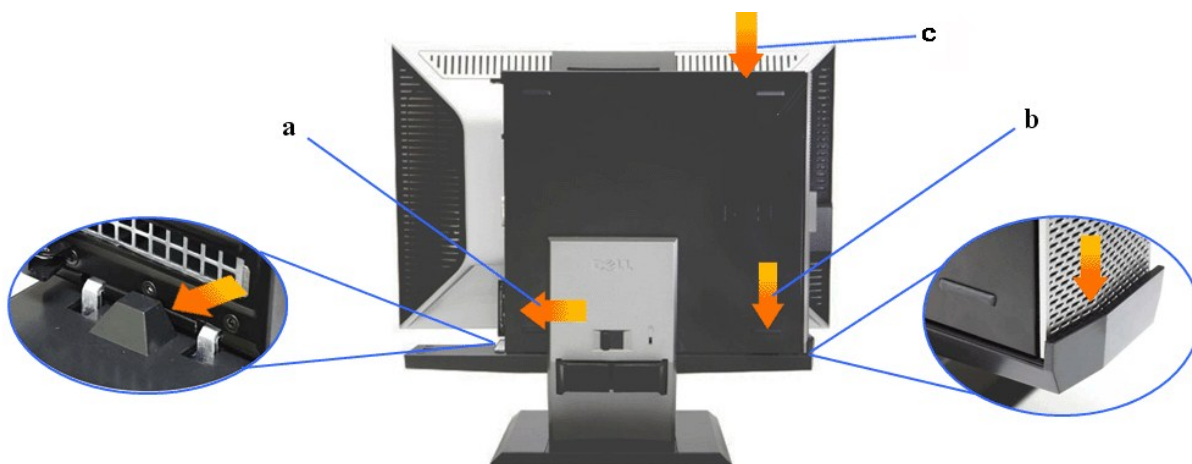


3. コンピュータの背面をステップに置きながら、コンピュータをスタンドに設置します




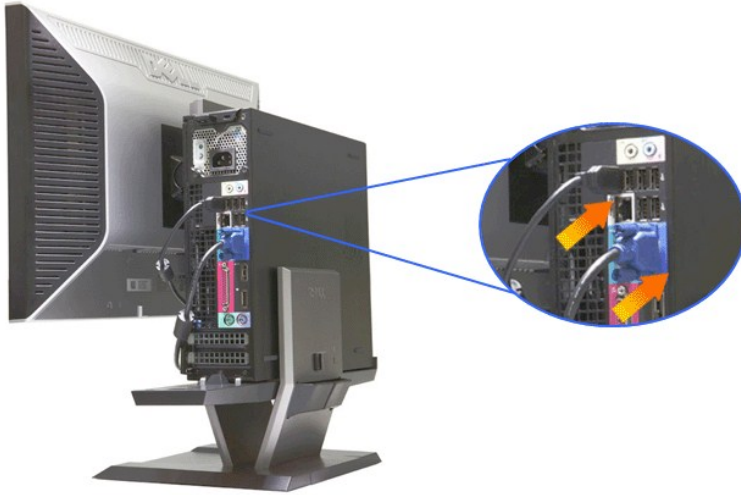
4. コンピュータをスタンドの自動ロック機構にかみあわせます。

- a. コンピュータが位置合わせ斜面にくるまで、シャーシの方にトーンします。
- b. コンピュータの前面を位置合わせ機能を使用して下げます。
- c. 自動シャーシフックがコンピュータをスタンドに固定するまで、コンピュータのフロントエッジ部分を押しします。




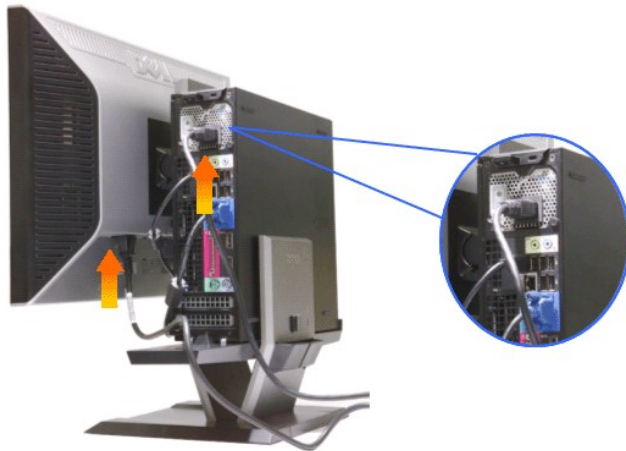
5. 青いアナログ (VGA) ケーブルとUSBケーブルをコンピュータに接続します。

 **注意:** この青いアナログ (VGA) ケーブルはモニターに取り付けられたまま出荷されます。

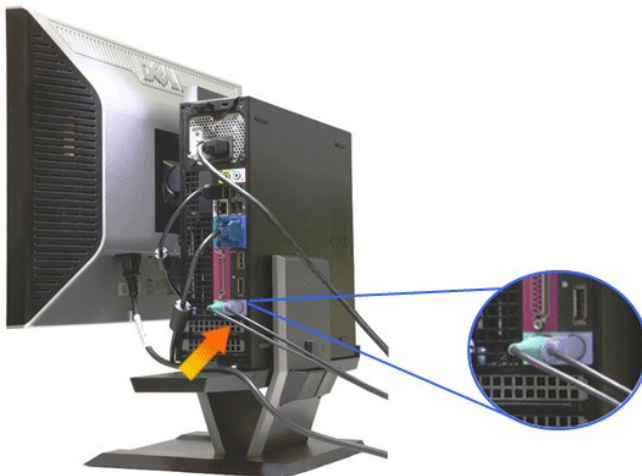


6. 電源ケーブルをモニターとコンピュータに接続します。

 注意: モニターの電源ケーブルとケーブルカバーは、モニターと一緒に出荷されます。

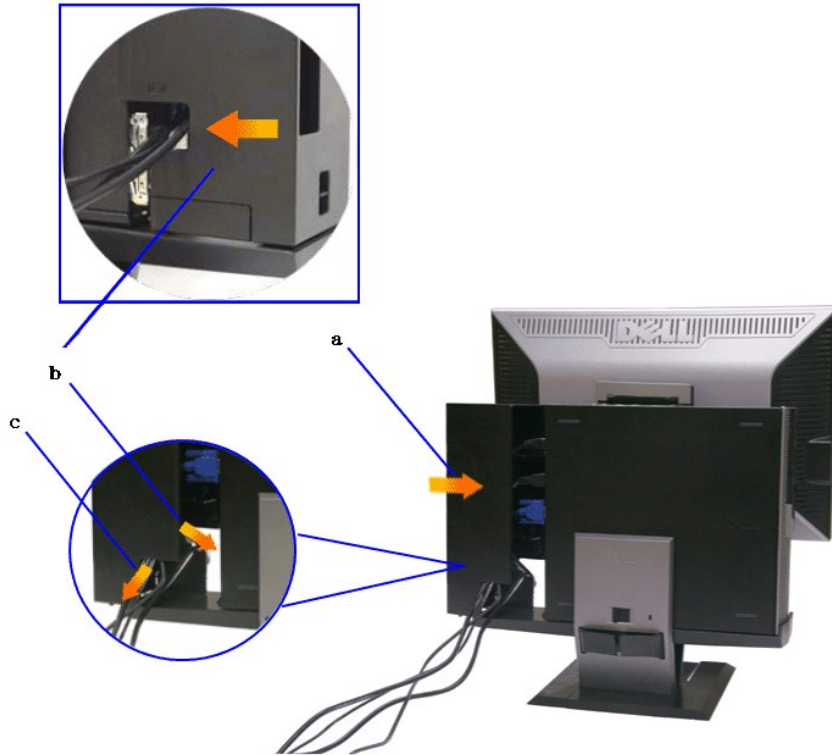


7. キーボード、マウスおよびその他のケーブルをコンピュータに接続します。

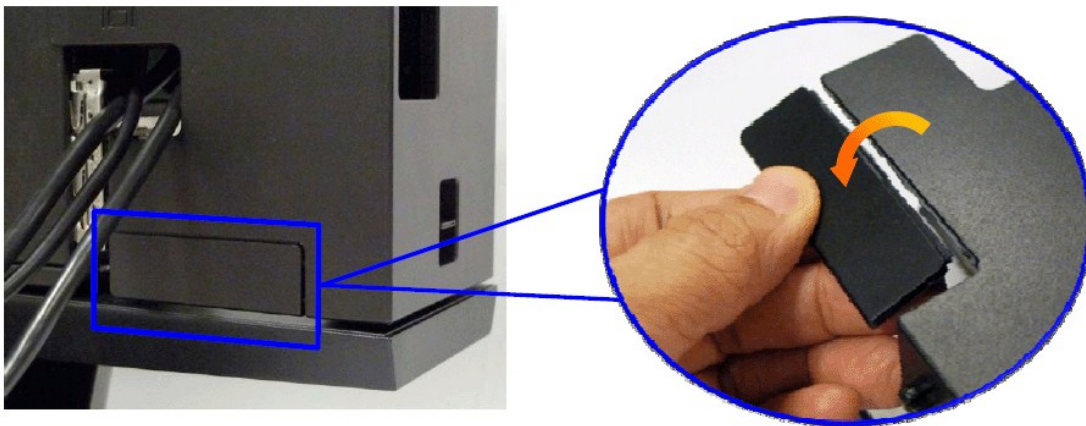


8. ケーブルカバーの開口部を通して、ケーブルを配線します。

- ケーブルカバーはコンピュータの傍にるようにします
- ケーブルカバーの前面開口部を通して、モニター(電源、USB、VGAケーブル)に接続されたケーブルを配線します。
- コンピュータの電源ケーブル、モニターの電源ケーブル、コンピュータ(マウス、キーボード、ネットワーク、プリンタ、回部オーディオなど)に接続されたその他のケーブルを、ケーブルカバーの背面開口部を通して配線します。



注意:ビデオ dongle を使用しなければならないアドオンビデオカードが付いて導入されているコンピュータシステムでは、分離部分を輪郭に沿って取り外してください。



分離部分を輪郭に沿って取り外してください。

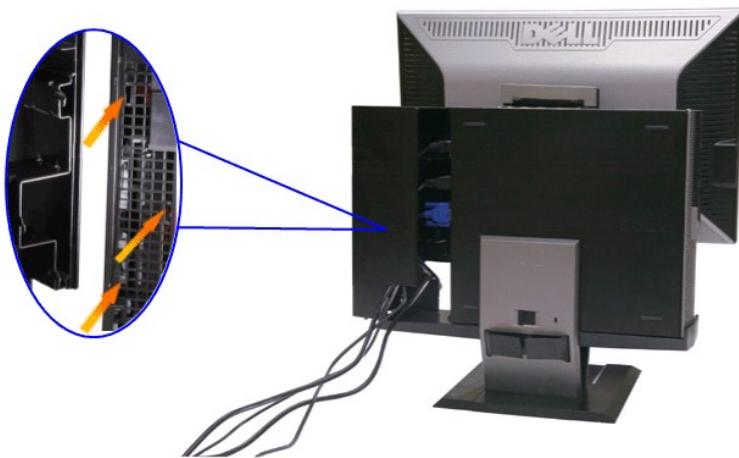


新しい開口部を通るドングルルート

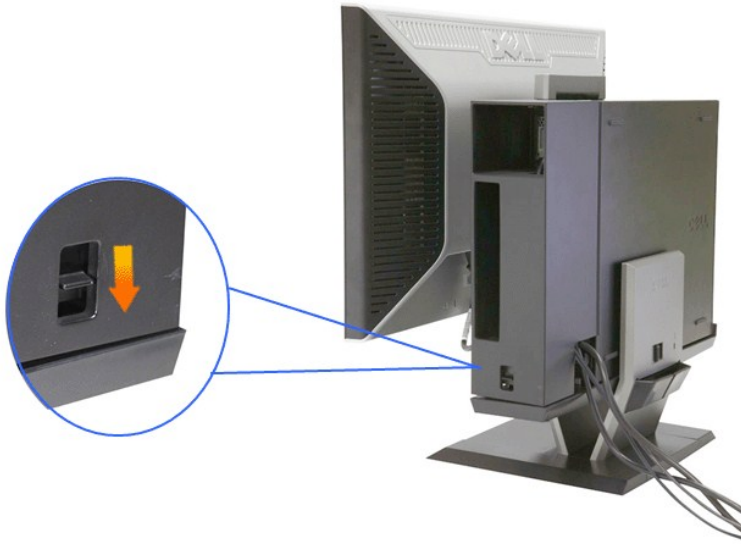
Optiplex SFF コンピュータ用ビデオ dongle のリスト

ビデオ dongle	ビデオカード
DMS 59 からデュアル DVI への dongle (含まれている)	256MB ATI RADEON HD 3450
DMS 59 からデュアル VGA への dongle (含まれている)	
DP から DVI への dongle (2 個含まれている)	256MB ATI RADEON HD 3470
DP から DVI への dongle (オプション)	統合表示ポート

9. 背面カバーをコンピュータの背面パネルに、ケーブルカバーの3つのフックをコンピュータ背面パネルの3つのスロットにかみあわせることで取り付けます。ケーブルを切断しないように、十分注意してください。



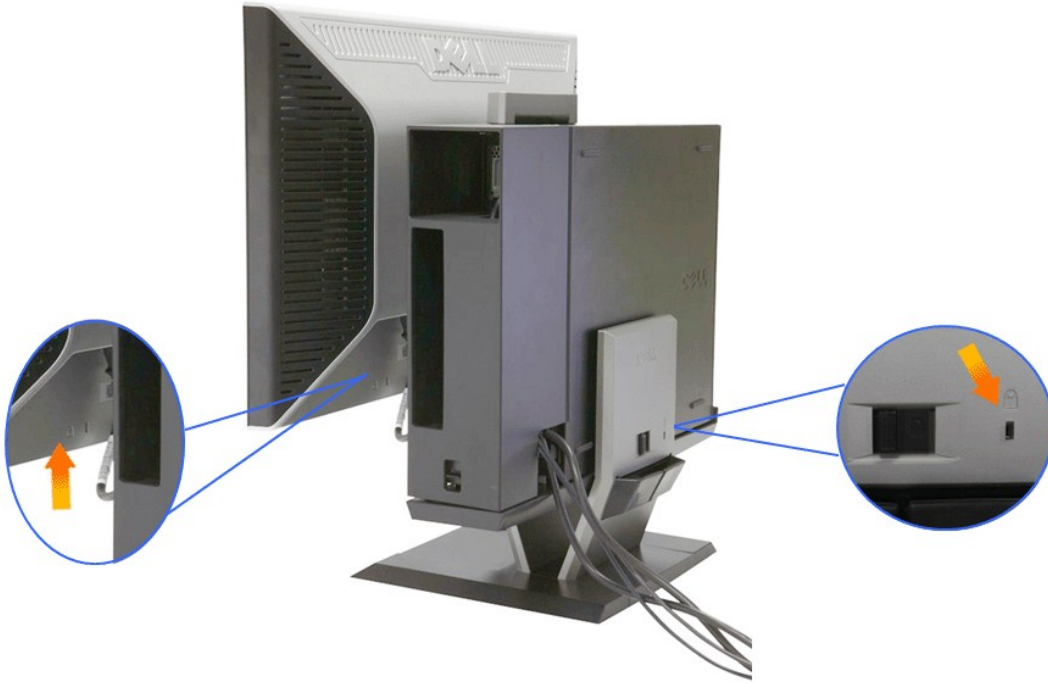
10. ケーブルカバーのロックスイッチを押し下げて、ケーブルカバーをスタンドにロックします。



11. ケーブル管理クリップを使用して、以下に示すようにすべてのケーブルをきちんと整理します。



12. セキュリティロックをコンピュータとモニターに取り付けます(オプション)



13. コンピュータとモニターの電源ケーブルを近くのコンセントに差し込みます。



14. モニターおよびコンピュータの電源をオンにします。

モニターに画像が表示されたら、インストールは完了します。画像が表示されない場合は、[トラブルシューティング](#)を参照してください。



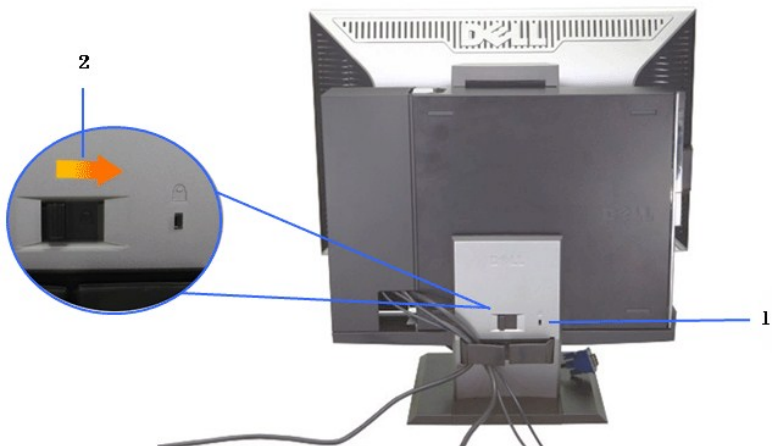
スタンドからケーブルカバーとコンピュータを取り外す

1. モニターとコンピュータの電源ケーブルを抜きます。

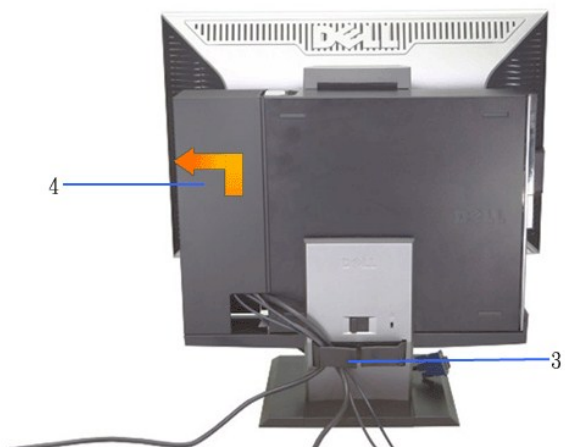


2. スタンドからケーブルカバーとコンピュータを放します。

1. オプションのセキュリティロック(使用されている場合)をスタンドから取り外します。
2. アンロックスイッチを右にスライドさせて、ケーブルカバーとコンピュータをスタンドからアンロックします。



3. ケーブル管理クリップからケーブルを取り外します。
4. コンピュータとスタンドから、ケーブルカバーとを持ち上げ取り外します。



5. コンピュータからすべてのケーブルを抜きます。
6. スタンドからコンピュータを持ち上げて、取り外します。



スタンドからモニターを分離する

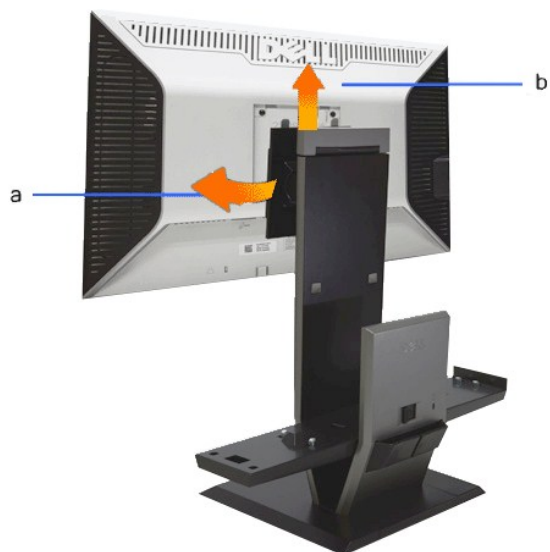
 **注意:**このモニターはVESA準拠の壁マウント用で、スタンドからモニターを取り外す必要があります。

1. スタンドの取り外しボタンを押してスタンドからモニターを取り外します。



2. モニターをスタンドから取り外します

- a. スタンドからモニターの下部を引き離します。
- b. モニターをスタンドから持ち上げます。



Dellサウンドバーを取り付ける(オプション)



🔔 **注記:** サウンドバー電源コネクタを他のデバイスとともに使用しないでください。?

1. モニター底部の2つのタブで、サウンドバー上のスロット2つを調整することで、サウンドバーを固定します。
2. 正位置にカチッとハマるまで、スライドバーを左にスライドさせます。
3. 電源コードをサウンドバーからモニター後部のコネクタに差し込みます。
4. 緑ステレオプラグをサウンドバーからコンピュータのオーディオ出力コネクタに差し込みます。

📌 **注意:** サウンドバーパワーコネクタ +12V DC 出力は、オプション専用です。

🔔 **注記:** Dell サウンドバー以外のデバイスと一緒に使用しないでください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

トラブルシューティング

Dell™ 2208WFP SFF AIOフラットパネルモニター

- [自己テスト](#)
- [よくある問題](#)
- [製品別の問題](#)
- [ユニバーサルシリアルバス固有の問題](#)
- [Dellサウンドバーの問題](#)

注意: このセクションで手続きをはじめの前に、[安全指示書](#)に従ってください。

自己テスト

お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピュータが適切に接続されていて、モニタースクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください:

1. コンピュータとモニター両方の電源をオフにする。
2. コンピュータの後ろかビデオケーブルを外す。自己テストが適切に運用できるようにするには、コンピュータの後ろからデジタル(白コネクタ)とアナログ(黒コネクタ)ケーブル両方を外します。
3. モニターの電源をオンにする。

モニタがビデオ信号を検知できないが正しく作動している場合、画面に浮動ダイアログボックスが(黒い背景に)表示されます。自己テストモードでは、電源LEDが緑になります。また、選択した入力によって、下に表示されるダイアログの1つが画面上をスクロールし続けます。



4. ビデオケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。
5. モニターの電源をオフにして、ビデオケーブルを再接続し、次にコンピュータとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニター・スクリーンに何も表示されない場合、モニターが適切に機能していないため、ビデオコントローラおよびコンピュータをチェックしてください。




注意: 自己テスト機能チェックは、Sビデオ、コンポジット、およびコンポーネントビデオモードに対しては使用できません。


内蔵診断

モニターには内蔵の診断ツールが付属しており、発生している画面の異常がモニターに固有の問題か、またはコンピュータやビデオカードに固有の問題かを判断します。

注意: 内蔵の診断は、ビデオケーブルがプラグから抜かれ、モニターが自己テストモードに入っているときのみ、実行できます。

内蔵診断を実行するには、以下の手順に従います。

1. 画面がきれいであること(または、画面の表面に塵粒がないこと)を確認します。
2. コンピュータの後ろかビデオケーブルを外します。モニターが自己テストモードに入ります。
3. 正面パネルの  と  ボタンを2秒間同時に押し続けます。グレイの画面が表示されます。
4. 画面に異常がないか、慎重に検査します。
5. 正面パネルの  ボタンを再び押します。画面の色が赤に変わります。
6. ディスプレイに異常がないか、検査します。
7. ステップ5と6を繰り返して、緑、青、白い色の画面についてもディスプレイを検査します。

白い画面が表示されると、テストは完了です。終了するには、 ボタンを再び押します。

内蔵の診断ツールを使用しているときに画面に異常が検出されない場合、モニターは適切に作動しています。ビデオカードとコンピュータをチェックしてください。

よくある問題

次の表には、発生する可能性のあるモニタのよくある問題と考えられる解決策に関する一般情報が含まれます。


一般的な症状	発生した問題	実行可能な解決策
ビデオなし/電源LEDオフ	画像が表示されない	1. コンピュータにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。

		<ul style="list-style-type: none"> 1 他の電気機器を使用して、コンセントが正しく機能していることを確認します。 1 電源ボタンが完全に押されていることを確認します。
ビデオなし/電源LEDオフ	画像なし、または明るさがない	<ul style="list-style-type: none"> 1 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを増加します。 1 モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。 1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 1 内蔵診断を実行します。
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている。	<ul style="list-style-type: none"> 1 OSDによって自動調整を実行します。 1 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。 1 ビデオ拡張ケーブルを外します。 1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。 1 ビデオ解像度を正しいアスペクト比(16:10)に変更します。
ビデオが揺れたり/ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none"> 1 OSDによって自動調整を実行します。 1 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。 1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。 1 環境係数をチェックします。 1 モニタの場所を変えて、他の部屋でテストします。
ピクセルが抜けている	LCDスクリーンに点が入る	<ul style="list-style-type: none"> 1 サイクル電源オン-オフ。 1 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーに固有の欠陥です。 1 内蔵診断を実行します。
ドット落ち	LCDスクリーンに明るい点が入る	<ul style="list-style-type: none"> 1 サイクル電源オン-オフ。 1 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーに固有の欠陥です。 1 内蔵診断を実行します。
明るさの問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。 1 OSDによって自動調整を実行します。 1 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。
幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。 1 OSDによって自動調整を実行します。 1 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。 <p>注意:「2: DVI-D」を使用しているとき、位置決め調整はご利用いただけません。</p>
水平/垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。 1 OSDによって自動調整を実行します。 1 OSDで、フェーズとピクセルクロックコントロールを調整します。 1 モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。 1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 1 内蔵診断を実行します。 <p>注意:「2: DVI-D」を使用しているとき、ピクセルクロックとフェーズ調整はご利用いただけません。</p>
同期化の問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。 1 OSDによって自動調整を実行します。 1 OSDで、フェーズとピクセルクロックコントロールを調整します。 1 モニター自己テスト機能チェックを行い、スクランブル状態のスクリーンが自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。 1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 1 セーフモードでコンピュータを再起動します。
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	<ul style="list-style-type: none"> 1 トラブルシューティング手順を実行しないでください。 1 直ちにDellにご連絡ください。
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	<ul style="list-style-type: none"> 1 コンピュータにモニタを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。 1 モニター自己テスト機能チェックを行い、断続的問題が自己テスト・モードでも発生するかどうかを確認します。
色が欠けている	画像の色が欠けている	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。 1 コンピュータにモニタを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。
色違い	画像の色が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> 1 色設定OSDで、アプリケーションに応じて、色設定モードをグラフィックスまたはビデオに変更します。 1 色設定OSDで異なる色プリセット設定を試みます。色管理がオフになっている場合、色設定OSDでR/G/B値を調整します。 1 アドバンス設定OSDで、入力色形式をPC RGBまたはYPbPrに変更します。 1 内蔵診断を実行します。
長時間モニタに静止画像を表示したために起こる画像の焼き付き	表示された静止画像のかすかな影が画面に表示される	<ul style="list-style-type: none"> 1 使用していないとき、電源管理機能を使って、常にモニターの電源をオフにしてください(詳細については、電源管理モードを参照してください)。 1 または、動的に変わるスクリーンセーバーを使用します。

製品別の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない	<ul style="list-style-type: none"> 1 画像設定OSDで、スケーリング比設定を確認します 1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。
正面パネル上のボタンで、モニターを調	OSDがスクリーン上に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差して、電源を入れます。

整できない		
ユーザコントロールを押しても入力信号がない	画像が表示されず、LEDライトが緑になっている。「+」、「-」または「Menu(メニュー)」キーを押すと、「Sビデオ入力信号がありません」、「コンポジット入力信号がありません」または「コンポーネント入力信号がありません」というメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 1 信号ソースをチェックします。マウスを動かさずキーボードのどれかのキーを押して、コンピュータが省電力モードに入っていないことを確認します。 1 Sビデオ、コンポジットまたはコンポーネントへのビデオソースの電源がオンになっていてビデオメディアを再生していることを確認します。 1 信号ケーブルが正しく差し込まれているかどうかをチェックします。必要に応じて、信号ケーブルを差し込み直してください。 1 コンピュータまたはビデオプレーヤーを再起動します。
ピクチャが画面全体に表示されない。	ピクチャを画面の高さまたは幅いっぱいに表示できない。	<ul style="list-style-type: none"> 1 DVDの異なるビデオ形式により、モニタが全画面で表示できないことがあります。 1 内蔵診断を実行します。

 **注意** : DVI-Dモードを選択しているとき、自動調整機能は使用できません。

ユニバーサルシリアルバス(USB)固有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
USBインターフェースが作動していない	USB周辺機器が作動していない	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニターの電源がオンになっているかを確認します。 1 アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。 1 USB周辺機器(ダウンストリーム・コネクタ)を再接続します。 1 電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。 1 コンピュータを再起動します。 1 外付けポータブルHDDのような一部のUSBデバイスは、高い電流を必要とすることがあります。デバイスをコンピュータシステムに直接接続してください。
高速USB2.0インターフェースが遅い	高速USB2.0周辺機器が遅いか、まったく作動しない	<ul style="list-style-type: none"> 1 コンピュータがUSB2.0対応かどうかを確認します。 1 コンピュータの中には、USB 2.0とUSB 1.1ポートの両方を搭載しているものもあります。正しいUSBポートを使用されていることを確認してください。 1 アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。 1 USB周辺機器(ダウンストリーム・コネクタ)を再接続します。 1 コンピュータを再起動します。

Dell™サウンドバーの問題

一般的な症状	発生した問題	実行可能な解決策
音が出ない	サウンドバーに電源が入らない-電源インジケータがオフになっている	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバーの電源/音量ノブを中間位置に対して時計回りに回します。サウンドバー正面の電源インジケータ(青LED)が点灯するかどうかを確認します。 1 サウンドバーからの電源ケーブルがアダプタに差し込まれていることを確認します。
音が出ない	サウンドバーの電源が入っている-電源インジケータがオンになっている	<ul style="list-style-type: none"> 1 オーディオ・ラインイン・ケーブルをコンピュータのオーディオ・アウト・ジャックに差し込みます。 1 すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。 1 コンピュータでオーディオ・コンテンツをいくつか再生します(例、オーディオCDまたはMP3)。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを高音量設定に対して時計回りに回します。 1 オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例、ポータブルCDプレイヤー)。
音が曲がっている	コンピュータのサウンドカードをオーディオ・ソースとして使います	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 1 すべてのWindowsの音量コントロールを中間に設定します。 1 オーディオ・アプリケーションの音量を下げます。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。 1 オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。 1 コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例、ポータブルCDプレイヤー、MP3プレーヤー)。
音が曲がっている	その他のオーディオ・ソースを使います	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 1 オーディオ・ソースの音量を下げます。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。 1 オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。
音出力がアンバランス	サウンドバーの片側からだけ音が出る	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードまたはオーディオ・ソースのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 1 すべてのWindowsオーディオ・バランス・コントロール(L-R)を中間に設定します。 1 オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。 1 コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例、ポータブルCDプレイヤー)。
低音量	音量が低すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを最大音量設定に対して時計回りに回します。 1 すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。 1 オーディオ・アプリケーションの音量を上げます。 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例、ポータブルCDプレイヤー、MP3プレーヤー)。

[目次ページに戻る](#)